

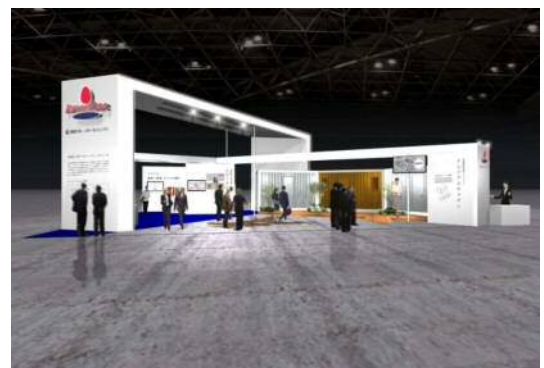
地震に負けない暮らしを供給する株式会社アーネストワン
危機管理マーケットの中でNO.1の知名度と集客力を誇る総合展示会

「危機管理産業展(RISCON TOKYO)2016」に初出展

～災害時宿泊ユニット「クレイドルキャビン」の
体験型実物展示などで、災害時の住宅供給課題に対する解決施策を提案～

飯田グループホールディングスの一員である総合不動産住宅メーカー 株式会社アーネストワン（本社：東京都西
東京市 代表取締役社長：松林 重行 以下アーネストワン）は、東京ビッグサイトにて2016年10月19日（水）から21
日（金）までの3日間で開催される、危機管理マーケットの総合展示会「危機管理産業展(RISCON TOKYO)2016」に
初出展いたします。

展示会では、「地震に負けない暮らしをつくる」というコンセプトのもと、
アーネストワンの、災害時における被災者への住宅供給課題に対
する解決施策を提案いたします。特に、災害時、被災地に運搬・設
置が可能な災害時宿泊ユニット「クレイドルキャビン」の実物展示で
は、プライバシー確保などの現場課題に対するソリューションをご
体験頂くことが可能です。また、震度6強の揺れを最大67%低減す
ることの出来る制震装置「SAFE365」を株式会社カナイと共同で開
発。その制震装置を搭載した戸建住宅ブランド「QUIE(クワイエ)」
の耐震制震技術を、模型などを使ってご紹介いたします。



※画像はイメージです

さらに、ブース内の一部エリアでは、基礎工事が完成した段階から48時間以内に家を完成させる「スピードビルド」
の技術を映像にてご紹介するなど、アーネストワンの提供する様々な住宅供給における施策をご説明いたします。
ぜひ、この機会に、日本トップクラスの住宅施工棟数を誇るアーネストワンの「地震に負けない暮らしをつくる」組み
みを、ご体験頂ければと考えております。

株式会社アーネストワン「危機管理産業展(RISCON TOKYO)2016」 出展詳細

○開催期間：2016年10月19日（水）・20日（木）・21日（金）

○開催時間：10:00～17:00

○会場：東京ビッグサイト 西1・2ホール、会議棟

○ブース：防災・減災ゾーン／小間番号：1J07

○展示内容：

- ・「クレイドルキャビン」の実物展示・ご紹介
- ・戸建住宅ブランド「QUIE(クワイエ)」のご紹介
- ・「スピードビルド」のご紹介など



出展商品紹介

■クレイドルキャビン

避難所等に運搬・設置可能な災害時宿泊ユニット。
脚を伸ばし、くつろぐことのできる寝室タイプや、衛生的な生活の為にトイレ・シャワー付きタイプなど、快適な生活を提供することが可能です。また、災害時の避難所・車中泊において発生するプライバシーの問題やエコノミークラス症候群による問題を解決いたします。



※災害時宿泊ユニット:クレイドルキャビンイメージ

■QUIE(クワイエ)

アーネストワンの2階建て分譲住宅「QUIE(クワイエ)」は、優れた耐震性と制震性を兼ね備えています。「QUIE(クワイエ)」は建築基準法で定められた壁量の1.5倍に達する十分な耐震性を持っており、さらにその耐久性を上げるために、株式会社カナイと共同開発した制震装置「SAFE365」を搭載しています。



制震装置「SAFE365」は、高層ビルの制震装置にも使われる粘弾性素材を活用しており、震度6強の揺れを最大67%低減することが証明されています。※1 さらに、最大震度6強クラスとなる120秒間続く地震を約200回受けても制震性能は衰えないと実証実験で分かっています。

※2

※1 SAFE365は、入力波:BCJ L2 175%の加振(震度6強)で揺れを最大約67%低減できることが証明されました。

※2 入力地震波:BCJ L2 175%の加振において、実大振動実験で得られた各方向に搭載された制震壁のダンパー部分の変位を制震壁の疲労試験結果にあてはめて耐久回数を算出したものであり、約200回の揺れを経験しても、その制震性能は衰えないと考えられます。

■スピードビルド

「スピードビルド」とは、基礎工事完了の段階から48時間以内に家を建てる技術です。技術力向上の為に一軒家を完成させるまでのスピードを営業所間で競う大会を定期的で開催しており、各営業所が、品質確保を前提としてスピードを競い合うことで、編み出された作業体制や技術が「スピードビルド」を実現させました。そこでは、作業効率の向上と集中的な人員の確保により、物理的な時間短縮を可能にしています。

■危機管理産業展(RISCON TOKYO)2016とは

危機管理マーケットの中で絶大な知名度と集客力を誇る総合展示会。

これまでに総勢65万人が来場し、本年12回目の開催を迎えるRISCON TOKYO。防災・減災やセキュリティ、BCPなど、多様なニーズを抱える官民の危機管理関係者から広く支持を受けてきました。

2015年には、前年比25.4%増の20,355名が来場。拡大する自然災害の脅威、2020東京オリンピック・パラリンピックに向けて強化が進むセキュリティ対策などの状況を受け、危機管理マーケットにおけるRISCONへの期待感は今以上に高まっています。前回来場者の97.8%が「2016年も来場したい」と回答。様々な課題を抱える来場者のニーズに応え、その評価を確実なものにしています。